

## 第5回 塩竈市水道事業基本計画検討委員会概要

1. 日 時 平成22年9月30日(木) 13:00～15:00
2. 場 所 水道部2階 大会議室
3. 出席委員 西村修委員長、大金仁一副委員長、千葉和彦委員、齋藤榮樹委員、千葉眞澄委員、佐々木和恵委員、高橋キヨ子委員、和田忠委員、今野吉晃委員、鈴木進委員、引地利男委員
4. 事務局 水道部長、次長兼総務課長、営業課長、工務課長、総務課課長補佐兼経営企画係長
5. 議 事

### (1) 開会

#### 委員長あいさつ

#### 【委員長】

皆様、お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。

本日は第5回目の委員会になりまして、次第にあるとおりでございますが、今まで検討を重ねてきた基本計画の素案が出されておりまして、これについてご審議いただきます。審議していただいでご了解をいただければ、広く塩竈の市民の皆様方に見ていただいで、意見を求めるというような手順で進めていく段階ですので、よろしくご審議をお願いいたします。

議事では、中期経営計画骨子についてというものもございますが、時間が限られておりますので、より良く進めていきたいと思っておりますのでよろしくをお願いいたします。

なお、本日の委員会は、丹野委員より欠席の通知をいただいております。

また、この委員会は公開にて開催をいたしまして、3時までの約2時間を予定しております。よろしくをお願いいたします。

基本計画素案という段階になってございますけども、前回までに皆様から色々ご意見を寄せていただきました。それが適切に加筆されているか、修正されているかというようなことも含めて、最終的なご確認をいただきたいと思っております。

### (2) 議事

#### 基本計画素案について

- ・事務局より、基本計画素案(第1章から第3章まで)について説明・提案

#### 【委員長】

基本計画素案の第1章から第3章まで一括してご説明いただきました。この委員会の最初の頃にご質問等もいただいた箇所でございます。改めて素案としてまとめるに

あたり、お気づきの点がございましたらご指摘いただければと思います。

**【委 員】**

水道事業の現状と課題というところの水道施設のところで、配水施設・浄水施設など色々ございますけれども、漏水率というのはどのぐらいになっているのでしょうか。

**【事 務 局】**

本日お渡しした資料にもございますが、前回お示ししていた数値が平成20年度の数値でありました。平成21年度では8.7%となっております。今後の目標では、8.0%まで向上していきたいと考えております。

**【委 員】**

水需要のグラフですが、年間配水量は青と緑を合わせたものですか。これだと青だけが年間配水量で、一部のようなイメージを持たれるのでは。

**【事 務 局】**

只今のご意見ですが、ご指摘いただいたグラフについては工夫をさせていただきたいと思います。

**【委 員 長】**

誤解が無いように、少しくどくなるかもしれませんが、明確にさせていただく方がいいかと思います。

そういったご指摘も、市民の皆様に見ていただくのに非常に大切ですので、お気づきの点がございましたらどんどご指摘ください。

**【委 員】**

一通り見させていただきましたが、内容的には非常に良く書かれていると思います。ただ、細かい部分でちょっと分かりにくい部分とか、間違いではないかという部分がありましたので、大きい部分ではございませんが順番にお話させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

**【委 員 長】**

誤字脱字でありましたら、後ほどメモを事務局にお渡しいただくということで、時間が限られておりますので、大きいところをお願いしたいと思います。

**【委 員】**

資料10ページの基本施策と目標というところですが、安定給水の確保が両方に書かれております。方針と施策が同じような内容で記載されているのはおかしいのではないかと思います。

同じように、この内容が11ページにも記載されております。この内容を読みますと、書いている本質は災害対策の強化というような内容で記載されているよう

に思います。本当に書きたかったのは、安定給水の確保というより施策の段階では災害対策の強化ということを書きたかったのではないかと思います。

また、11ページに3つの表題がありますが、表題と記載されている内容が必ずしも的確な形では記載されていないと思います。要は、表題に含まれない内容が記載されているということで、内容もしくは表題の工夫が必要ではないかと思います。

### 【事務局】

今委員からご指摘のあった部分は、これまで実施してきた経営改善推進計画、これは平成18年度から平成22年度までの5ヵ年計画ということで進んでいる計画ですが、確かに表題と内容が一致していない部分があるかと思います。

当初計画を策定するときに、3つの体系と4つの基本施策ということで、内容的にはすでに取り組んできている内容です。今年度平成22年度が最終年度ということで取り組んできている内容ですので、その辺はご理解いただければと思います。

### 【委員長】

平成13年度に水道部長期総合計画ができて、平成18年度に水道事業経営改善推進計画ができて、平成22年度まで進めてきたと、それがどうだったのかというまとめをここでしております。文言等のズレがあるということかもしれませんが、それは当初こういう形で作ったので、それがどうだったのかということでまとめざるを得ないので、この時点で元の計画を変えるという話にはならないのかなと。

今回も基本計画を作らせていただきますが、将来そういうご批判をいただかないように、注意して作らなければいけないというふうに考えていただくのがいいのかなということで、委員のおっしゃることはもっともであると思いますが、今までのレビューといいますか、これまでを総括するとこうだったということでご理解いただくしかないかなと思います。

### 【委員】

12ページの水源の状況というところの表で、「原水水質の汚染要因」というような書き方で記載がされております。汚染というと、何がしかの不加減があって、そういったものが誘発して起こしているというように、どちらかというとな人為的な要素のほうが大きくとられる可能性があります。ここは必ずしもそういった要素だけではないのではないかと思います。考えてみましたが、ここの表題の内容から見ると、「原水水質の悪化」、悪化というような書き方が近いのかと思います。事務局が考えている内容に合致するかは分かりませんが、提案させていただきます。

また、藻類の後にウログレナ等という表現があります。ここでは異臭味発生のことを考慮されたのではないかと思います。藻類の優占種について、必ずしも特定のものに宮城県の場合限られてはいないので、ここのカッコの中は削除されたほうがいいのではないかと思います。

それと最後のところで、降雨及びダム放流による濁水の発生という表現がございます。降雨についてはその通りかと思いますが、ダム放流による濁水の発生ということは、大倉ダムからの放流があった場合には濁水が発生するととられるわけです。塩竈

の場合は、放流水をコンスタントに取っておられますので、ここの原因としては、放流水そのものによるものではないので、ここの表現は考える必要があるのではないかと思います。

他には、細かい表現的な部分がありました。大きなところでは今申し上げた内容です。

### 【事務局】

只今委員からご指摘のあった部分については、確かに修正が必要な部分などございますので、検討をさせていただき、誤解の無いような形に修正させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### 【委員長】

本来であれば、パブリックコメントを行う前の素案を作るということで、一字一句読んでいただく時間を取らなければいけなかったのですが、少し今回はスピードが間に合っておりませんでした。

私からの願いは、今日明日、又は今週中ぐらいに、一度最初から最後まで眺めていただいて、お気付きの点はすべて事務局の方にお寄せいただいて、その修正や加筆については、事務局と、私も参加させていただきませんが、一任させていただくような形で取りまとめさせていただきたいと思っております。細かいところにつきましては、そういう対応でやらせていただきまして、今回は全体を眺めていただいて、ぜひこれは書き込まなければならないであるとか、あるいは、この部分についてはまだ不明で、これを一般の方に読んでいただいても分からないのではないかと、そういうようなことを中心にご議論いただければと思います。

### 【委員】

私は塩竈市第5次長期総合計画の委員になっておりまして、計画の位置づけのところ、第5次長期総合計画との整合性を図るという部分がありますが、主にこういったところの整合性を図っていくのか。人口減少は分かりましたが、その辺を説明いただければと思います。

### 【事務局】

第5次長期総合計画は今塩竈市で策定を進めていますが、この計画には、水道部も水道部会ということで参加しております。ただ、水道自体が単独で項目を持っているわけではないので、ライフラインの強化、あとは生活環境関係ということであります。これについては、いろんな重要な点、あるいは目標点みたいなものがございます。その中で、前回お話ししました重要管路、重要水道管路の耐震化率、そういう数字についても、本来ですと水道事業ガイドラインには数値がないのですが、合わせた形で、本庁のそういった重要な施策と合わせた形で目標を設定させていただいたり、今委員がおっしゃいましたように、人口については計画を作る段階で、向こうの数字、最終で5万5千という数字がございますので、5万5千に合わせた数字、あるいは平成27年度では、5万5千8百という数字、そういう数字で給水人口を想定したりして、

そういうふうな整合性は図らせていただいているような状況です。

#### 【委員 長】

非常に大切なご指摘で、上位計画である第5次長期総合計画をしっかりと踏まえて、水道事業基本計画を作るというのは当然でございますが、同時並行で動いているということで、幸い委員の中には長期総合計画の委員もいらっしゃるということで、水道事業基本計画においても整合性がしっかり取れているかどうか、委員の立場としてご指導いただくのがいいかなと思います。そこら辺もしっかりと読んでいただいた上で、疑問点があれば事務局の方に寄せていただくようにぜひお願いします。

#### 【委 員】

14ページの送・配水管のところですが、やはりここに表がございます。送水管・配水管、上の方には、延長、経年管延長というような表現でございますが、水道関係に直接関わったことがある方はイメージがわくのかなというふうには思いますが、この「延長」という表現が必ずしも一般の方に読んでいただくのに適切なのかなと感じました。例えば、「長さ」とか「距離」などという表現をしたほうが読みやすいのかなと、イメージがわくのではないかというように思います。管の延長については、いろんな形のところにそのような表現がございますので、できればそれは一般の方が読めるような形の表現に修正なされた方がいいのかなというふうに思いました。

#### 【事 務 局】

表現の仕方については、一般の方に分かりやすいようにということで、後ろには用語解説は付けさせていただいておりますが、延長については理解してもらえるものとして記載しておりませんでしたので、適切な表現とするように相談しながら決めていきたいと思っております。

#### 【委 員 長】

適切というか、これ自体は適切なのですが、分かりやすく工夫していただくと、あんまり工夫すると逆に専門用語が別にとられると良くないので、この場合、延長であれば注をつけるとか、あまりくどくならない程度にやっていただくということは、努力目標でぜひお願いします。

あんまり変えすぎますと、意味が変わってくるという可能性もございますし、水道は水道でこういった専門用語を使うという部分がありますので、とにかく、一般の市民の方々に読んでいただくということは常に意識していただければと思います。

第1章から第3章までは、これまでの10年間、5年間で総括したということで、大きく内容が変わるというものではないと思いますが、委員の皆様方からご指摘いただいたようなところ、もう一回読み直すとそういうことも出てくるかと思っておりますので、ぜひ一度お願いして、来週早々くらいまでにお気付きの点がございましたらお寄せいただければと思います。

## 基本計画素案について

### ・事務局より、基本計画素案（第4章から第5章まで）について説明・提案

#### 【委員長】

それでは第4章の水道事業の将来像と目標、第5章の6つの基本目標と主な取り組みということで、基本計画の非常に大事な部分でございます。今事務局からご説明いただいたように、これまでの皆様のご意見等々を踏まえて修正されております。更に、事務局の方でも鋭意検討していただいて、文言の修正等も含めて新たな提案もなされております。これを合わせてご意見を伺いたいと思います。

#### 【委員】

4章5章を見て感じたのが、非常に良く書いていただけたと思います。率直な感想でそういうふうに感じました。

ただ、全体的に見て、文節が長すぎるのがかなりあります。要するに、句読点だけで、ひどいところでは5・6行に及ぶ内容がございますので、もう少し読みやすく区切られた方がよろしいかと思えます。全体的に、大きいところではそのようなことに気がつきました。

それと、水質管理体制の充実というところですが、水質監視体制の強化に取り組んでいきますというふうな記載がございます。この内容がどういったことをいっているのかが分からなかったのですが、要は、通常形のでの水質管理というふうなことであれば、前の文章だけで十分入っているのかなというふうに思われました。ですので、ここでいっている水質監視体制の強化というのはどういう意味合いのかなというところが分かりませんでした。

次に、災害対策の目標という形で出ていますが、重要水道管路の耐震化率を表す目標がございます。できれば、これに合わせてどこが重要水道管路なのかを地図で示して、どこまでが耐震化が終わっているかを示された方が、より分かりやすいのかなと思います。

それと、職員一人当たりの給水収益とありますが、この指標の定義が間違っています。確認なのですが、この数値の一人当たりの単価が大きいのかなと思ったのですが、一応確認なさってみてください。間違いなければ結構です。

また、配水量1<sup>m</sup>当たりの消費エネルギーということで、平成21年度で0.41 MJ/m<sup>3</sup>、平成27年度で0.40 MJ/m<sup>3</sup>、32年度でも0.40 MJ/m<sup>3</sup>という目標設定をなさっておりますが、今の世の中の状況を見ると、これでいいのかなというふうに思いました。

目標ですので、少なくとも省エネルギーの値が数値目標で減らすんだよというところは示した方がいいのかなと思います。個人的に思ったのですが、0.39 MJ/m<sup>3</sup>ぐらいということでも、いくらかでも改善するというものを挙げた方がよろしいのではないかと思います。

#### 【委員長】

何か今の時点でお答えいただける部分はございますでしょうか。修正のところはそ

れで修正していただいでよろしいと思いますが。

例えば、目標が分かりにくいということでしょうか。目標値が現状維持ではあまり気合の入った目標には見えないと、 $0.39 \text{ MJ} / \text{m}^3$ になったからといってどのぐらい気合が入っているかは分かりませんが。

#### 【事務局】

ご指摘いただきました水質管理体制の充実につきまして、この辺の表現につきましては、再度事務局の方で理解しやすいように、再度検討したいというふうに思います。

#### 【委員長】

途中にご指摘がありました文章が長くて読みにくいか、簡潔明瞭になども含めて、事務局の方にお任せしますので、よろしくお願いします。

#### 【事務局】

ご指摘いただきました配水量  $1 \text{ m}^3$  当たりの消費エネルギーですが、これについても再度持ち帰って検討させていただきますのでよろしくお願いします。

#### 【委員長】

数字として  $0.39 \text{ MJ} / \text{m}^3$  とだと格好はいいのですが、何の当ても無く出しても意味がなくて、積み上げていってこのようにできそうだというのが非常に大事で、目標を掲げたが具体的な施策がないでは良くないので、できるだけ下げるという気合が分かるような文言でよろしくて、当然この世の中、省エネルギーというのはどんどん進めなければなりませんので、ぜひうまく表現していただければと思います。

#### 【委員長】

他に何かございませんでしょうか。

特に事務局の方では、前回まで提示していただいている内容と変わったところについて一覧表を作っていただきましたので、非常に分かりやすくまとまっているかとは思いますがそれでよろしいかどうか。

今までの議論で、前回の提案まではおおよそ認めていただいていると思いますが、ここから少し変わっている部分についても含めてご了解いただきたいというようなことでございますので、ご意見いただければと思います。

#### 【委員】

具体的な目標数値に対してアクションプランと申しますが、それは別途詳しくたてるのでしょうか。年間計画が何かに落とし込みをして。であれば、それを明示していただいた方がいいのかなと、目標数値はたてられているのですが、それに対する具体的な行動計画というか、誰がどの部分をいつまでどうするといった部分が不足しているように思われます。

また、職員 1 人当たりの給水収益については、あまり意味を成さない数値ではないかと思えます。市の職員を削減していくことが背後にあるとは思いますが、それを

した方が分かりやすいと思います。というのは、正職員が減った分民間委託なんかが増えると思うのですが、そういったところがあると思うので、単純に1人当たりの給水収益が出されても、あまり意味がないのではないかと思います。

民間委託の推進ということが書かれておりますが、この中には、公平公明正大にということ、当然なのではないでしょうか入れていただければと思います。

### 【事務局】

後ほど説明する予定ではありましたが、中期経営計画ということで、5カ年のアクションプランということで作成してまいります。これについては後ほど説明させていただきます。

数値目標につきましては、水道事業ガイドラインの中の指標を使うということで作らせていただいておりますので、もちろんいろんな面での公表とか決算書なりに公表しておりますので、その数字を使うことには問題ないと思いますが、その辺については持ち帰り検討させていただきたいと思います。

### 【委員長】

このところは、再度事務局でご検討いただくということで、基本的にはどうしてここに出てきたかということ、厚生労働省でしたでしょうか、色々な指標が出されて、それに則って指標を出してみてくださいと、それで適切に自治体ごとに適切な指標を使ってくださいというような流れの中で出てきておりますが、今ご指摘いただいたように、この数字がどのように変わっていくかということが非常に大事でございます。単純に上がればいいということであると、どんどん職員が減って行って、他のところにしわ寄せが来ないのかと、全体的に見なければならぬこともあります。

ここは事務局の方で、きちんとした考え方で出していただければと、これはこれで出すのであれば、このような意味合いであると分かるように、あるいは適切な指標があれば、検討していただくということも含めてお願いします。

### 【委員長】

ひとつ、私の方から皆様にきちんとご理解いただいているほうがいいかと思うのは、34ページに、広域化・広域連携の推進というのが入りました。今まであまり議論されてこなかったことかと思えます。

実はこれは、塩竈市の水道という単独の問題ではないので、やりますとかそういったことではないのですが、広域化・広域連携に関する調査研究を行いますと、広域化をすることによって、どのようなメリット・デメリットがあるのかということの研究しますというような文言でございます。水道の広域化というのは、簡単に申しますと、塩竈市と近隣の自治体が「水道」という部分で1つの企業体を作って経営していくというやり方でございます。

例えば、近くの自治体ですと、石巻ですね、これを見ると誤解されるとまずいかもしれませんが、8ページの表に石巻広域と書いてあるのがこれの一つの例でございます。たまたまかとは思いますが、広域化したら水道料金が安かったというような、広域化すれば必ず安くなるわけではないですが、しかしながら色々な意味で、規模の

問題という意味で、効率化されるというところが多々あるようでございます。更には各自治体レベルで、きちんと水道技術者を確保するのなかなか難しい状況の中で、広域化というのはいろんなメリットもあるようにも聞いております。

そういうようなことも、この基本計画の中に入れさせていただいて、これから研究していくという中で、具体的な成果が出てきて発展的に、そうなりますと水道だけの議論ではございませんが、そういうことについて、この委員会としては、ぜひ研究をしてくださいとか、いやいやそれはというようなことも含めて、ご了解をいただいたほうがいいのですよね、見逃す点かと思いましたので指摘させていただきました。これはよろしいでしょうか。研究するということですので、特に今の基本計画の中で大きく変わるものではございませんが。

他に何か、4章5章に関しまして、お気付きの点などございませんか。

先ほどから色々とお指摘いただいている通りでございます。細かくはですね、実際にご自分で丁寧に読んでいただいたら、非常に読みにくいであるとか、皆様方はある意味水道のプロになりかけておまして、専門的な用語もご理解いただけるのですが、一般の人の目に触れても、なるほどというふうに読めるかどうかというところで、少し工夫が必要だと思われる点は、チェックだけでも結構なので、事務局の方に、この文章が読みにくいですとか、ぜひ、この委員会以降、あまり遅くなりませんと対応できないと思いますので、来週早々ぐらいいまでにお寄せいただくということをお願いいたします。

## **基本計画素案について**

### **・事務局より、基本計画素案（第6章から第7章まで）について説明・提案**

#### **【委員長】**

これで基本計画全体をご説明いただいたということになりますので、特に水道用語解説は、皆様一度読んでいただいて、文言の分からないところがあったらチェックしていただいて、用語解説に入れてくださいと、どんどんやっていただいた方がよろしいかと思えます。プロの方は逆に気がつきませんので。

全体的に、この基本計画について、少し足早に議論させていただきましたが、どこでも結構ですので、お気付きの点がございましたら改めてご指摘お願いします。

#### **【委員】**

職員一人当たりの給水収益について、これを読んでもみると、この値は大きい方がよいということで、基本的にはそういうことだろうということで、次に、受水や委託などに頼っている事業者はとありますが、これはよその事業者のことを言っているのでしょうか。他の事業者はということであれば分かるのですが、一般の人がこれを読んでも分かるでしょうか。

#### **【委員長】**

こういうところが非常に重要ですね、だったら塩竈の水道を受水や委託に持って

いくのかと、そういうふうにもとられかねないのでは、ちょっと本意ではないわけですね。解説として入れたという意味合いと、目標に入っているという意味合いと、色々な捉え方があるということ踏まえて、基本的には、他のところから水道水を買ってくるということではないですね、基本的にですね。

そういう意味でも、指標としての適正というものと、その説明について、皆様方も分かるし、その裏に隠れている考え方・方向性というのも間違いはないのですが、一般の人が見たときにどうなのかなと。だったら受水や委託にどんどん頼って職員が少なくなれば、非常に良い指標になって、すばらしい水道になるのかというように、短絡的にとられないということは非常に大切だと思います。

#### 【委員】

平成32年度で4,200万円、27年度で4,000万円ということで、考えてみると、職員も年々給料が上がりますし、老朽管の交換で費用が嵩むとか、そういった全体の絡みと、漠然として理解がしにくいという気はいたします。

#### 【委員長】

他のところもですが、指標については数字が出ますと注目されるところでもございますので、皆様方ご理解が難しいというのであれば、どんどん今のうちに指摘いただいたほうがありがたいと思います。

#### 【委員】

ちょっとまだ理解できないのですが、水道料金は分かりますが、解決できないのは下水道使用料金のことだと思います。

色々なものを見ると、塩竈は下水道使用料金が低い。ある資料では、20m<sup>3</sup>使用で、塩竈は3,900円、多賀城市は1,850円だというような数字まで出して、塩竈は「市」で一番高いというような資料も出ているので、水道料金と下水道料金の違いとか、どのように示していくのかというのが疑問に思います。

#### 【事務局】

下水道については、普及率が高い数値にありますし、埋立地ということで建設費が相当かかっています。そういったことで下水道料金が高くなっております。

基本計画は、水道の10カ年の計画ですので、そこまで含めてという考えはなかなかできないものですから、その辺はご理解いただきたいと思います。

#### 【委員長】

とにかくそこは、水道の基本計画として作っておりますので、下水道のことが責任を持って書き込めることがあるかと申しますと、これは無いと。下水道の方々と内部で議論をしませんとおかしなことになりますので。その上で、そののところは、上位のところでの計画なり委員会なりで議論していくということはどうしても必要な部分であると思います。

水道というのは、経営的にも独立採算でやっているということは、公共性の高い事

業の中で非常に大きな特徴でございまして、そういう意味では、単独で料金も低廉な形で安定給水されているという意味で、大変塩竈市の水道は頑張っていると思うのですが、下水道と一緒に評価されるというところは、広報機能を強化していくことが大事かもしれません。

### 【委 員】

私も一般人としてこれを見たときに、読みづらい見づらい部分もいくつかあるのですが、これは最終的に仕上げた段階で構成が更に変わってくるのかなと思いましたが、ブルーの濃い色で括った中で、白い文字は浮き立ってよく見えますが、水色に黒の文字は、一般の方々が老眼鏡をかけても見えないのではないかと思います。

全体的に、テーマのところの字が小さい。解説の字はもっと小さくても、見出しのところはもう少し大きくしてもいいのではないかと思います。

それから、写真が数枚しか使っていない。水道を有効に使っている、あるいは新しい施設の写真を載せたりだとか、あるいは、これを冊子にしたときに、表紙には手にとって見てみたくなるような図案など、その辺を期待したいと思います。

冊子を手にする、ぱっとめくってゴミ箱に捨てるということが多いので、写真が要所要所に出てくると、ここを見たことがあるなどの期待感があるので、もう少し字が小さくてもいいので、特に大事なところの見出しが、大きく太い字で書き込まれたらいいかなと。

特に12ページの給水人口のところなんかは、一番一般の方々は興味を持ってご覧になると思うので、棒グラフなんかも、もう少し色鮮やかに、ぱっと大きく表示して、A4いっぱいに表示して構成していただきたいなど。基本的な細かいところ、要求ではなくて事務的な作業としてそういう文字の大きさ、それからインパクト、それから色彩、私ははっきり言って地味だなと思いますので、もう少し水の色だけではなくて、もう少し明るい色をふんだんに使って、ページ数の近くに空欄が目立つので、字を大きくしていただければ、もっと魅力ある骨子に仕上がるのかなと。

今日の市からの説明を聞いて、かなり要所要所改正をしてくださって、提示してくださったということに対しては、大変感謝しております。

### 【事 務 局】

委員からご意見をいただいた部分に関しましては、この計画の中でも、特に利用者の皆様に伝えたい部分というものを強調しながらも、できるだけ見やすく理解しやすいような表現、再度工夫してみたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

### 【委 員】

全体的な感想という立場で申し上げさせていただきたいのですが、5回の勉強会の中で積み重ねてきますと、今日の段階にきますと大変難しくなってきました。専門的な用語など、水道部の方であればこういうところがピンカンとつながるのでしょうけども、もう少し要点をまとめて、分かりやすく出していただければいいかなと思います。

それと同時に、出来上がった際に、どこへどういうふうにお見せするのかと。一般

の人が見た場合に、8ページにあります。塩竈はこのような安く、それが一番先にピンとくるくらいで、一般の方が果たして最後まで読んでいって納得するのかと。ですので、もう少し簡潔に、そしてこの水道料金の表にきちんと結びついてというように、この冊子を見せられた人も理解した上で次のステップを踏んでいく。これを継続していけばいいのかなということが分かりやすく一般市民に分かるような方向をまとめていただければありがたいかなというふうに思います。

#### 【委員長】

今までの意見と大体同じ調子で、一般の方々が見て分かりやすいとか、見た目にも見やすいとかですね、非常に大事だと思います。

#### 【事務局】

ご指摘いただいている部分はその通りということで、やはり今後もアピールをしながら、水道に関する正しい情報を正確に伝えるという部分が一番重要ではないかと考えております。

#### 【委員長】

私もあまり知らないのですが、他のこういった水道の基本計画とかは、こんなにカラフルなものはないのではないかと。かつ、見た目的にも図であるとか写真もとりあえず使われていて、他のところとの比較なのですが。

これはある意味塩竈として、基本計画の大きな特徴かと思います。ですから、更に写真とか入れられて、工夫されるということである意味塩竈らしさをどんどん出していくという意味で良いのかなと思います。

大抵基本計画というのは文章がずらっと並んで、なかなか読みにくいのがごく普通でございます。

最初の方をお願いしたとおりで、ぜひもう一度、この委員会の議論を踏まえて基本計画を一度読んでいただいて、文言等、説明文章を解説に入れろというようなことも含めて、何かございましたら事務局に来週の前々くらいまでお寄せいただくことを、委員長として皆様をお願いしたいと思います。

### 中期経営計画骨子について

#### ・事務局より、中期経営計画骨子について説明・提案

#### 【委員長】

中期経営計画骨子というぐらいの段階でございますがご説明いただきました。これについて何かご意見ございましたらお願いします。

今の段階では、具体的なアクションプランの前の段階ですが、項目立てとかは大体出ているという段階でございます。ですので、今の段階では非常に概略的なご意見ということになるかと思いますが、特にこういうところを重点的に頑張ってもらいたいというような、そういったご意見がありましたらお願いいたします。

### 【委員】

以前に、将来的な水道事業について、人口の減少と収益という点で、水がどうしても余ってくるということでお話がありましたが、この水の有効活用といいますが、どういった形で活用していくか。

東京都の場合では、漏水率が2%という話もありまして、その2%のソフトの事業を海外の方とか、そういった部分に販売していくといった計画もあるようなのですが、やはりそういった対極的な部分から考えていかなければいけないというのも一つは必要なのではないかと提言させていただきます。

### 【事務局】

水の有効活用ということでございますが、当市で言いますと、大倉ダムから1日30,000m<sup>3</sup>、仙南・仙塩広域水道からの1日5,300m<sup>3</sup>。今現在の市内の配水量からしますと、大体23,000m<sup>3</sup>ぐらいとなっておりますので、表現の問題はありますが水余りの状況となっております。

他市町村あるいは近隣市町においても、水余りの現象は、例えば富谷町や名取市では横ばいではありますが、ほとんどの事業体では下降線となっております。いつ歯止めがかかるか分からないという状況の中で、有効活用という部分ではなかなか難しいという判断をしております。ただ、基本計画の中でも、水道事業の広域化という部分で、有効活用策についてはその中に含めた形で議論していきたいという考えを持っておりますのでよろしく申し上げます。

### 【委員長】

大変大切なご指摘で、要は人口が減っていけば給水量もどんどん減っていく、サイズが小さくなっていく時代をどうしても迎えるのですが、それに対応して施設を小さくしていくというだけではなくて、もう少し積極的な活用の方法も考えるとか研究するとかというのも非常に大切ではないかというご指摘として、もし皆様方から、水を売る良いアイデアがあれば、どんどんそういった勉強会をやっていただくというのは非常にいいことだと思います。

世界で見ると水は売れていまして、どこかの国の水がタンカーに乗って売られるという時代ももう来ております。日本は湯水のごとくで、安く安全でおいしい水が手に入るという状況が今は確保できていますが、未来永劫どうかという難しい状況もありえると思いますし、近隣諸国を見れば、渇水で大変な被害を受けている国もいっぱいありますので、塩竈の水道ではございますが、周りの状況、地球環境を考えていただいた上で、色々な活用する方法もあるかとも思います。

### 【委員】

私たちの携わった会議は今日で大体終わりかなと思いますけども、来年度から、この5カ年にかけて、この骨子の中身を実践していくわけですが、その際に、私は前に再生委員会を立ち上げて委員になったときに、委員の方に毎年成果であるとか、今現在どういう状況であるとか、骨子の通り進んでいないとか、実践の様子を知らせてくださったりするのですが、あるいは広報で毎年どの程度調査研究、実践が行われている

るかなどは、これからの広報活動が具体的にこの5年間一般市民にどのように知らせていくのでしょうか。

#### 【事務局】

この基本計画につきましては、利用者の皆さんに、計画に対する実施ということで、今のところはホームページで公表し、なおかつ水道部では独自広報誌の発行ということで、年2回ではございますが発行しておりますので、それらを活用しながら利用者の方に広報していくという考えでございます。

#### 【事務局】

これからの方針といたしまして、委員からお話のあった通り、いろんな委員会を市の方で実施しておりますが、その中でせっかくこのように携わっていただいた方々には、その後の状況について、できればある機会にお集まりいただいて報告するとか、そういった活動もしていきたいと思えますし、今回色々とお話していただいた中で、水道に関連する人達、広報も含めて、そういう方々ともう少し機会を作りましょうと、そういう形でもう少し水道をアピールしていきましようというのがありますので、そういうことで、委員の皆様や他の市民の皆様に対してもどんどんアピールしていきたいと考えてございます。そういうことで、水道をより身近な問題として捉えていただければと思います。

先ほど委員より出されました東京の話題についてですが、なかなか塩竈の規模であるような形で行う、海外に出て行くというのは難しい面もありますし、むしろ東京の場合は、高度浄水処理の問題もありますけれども、皆様にご理解いただきたいのは、塩竈の場合は、あれだけお金をかけて浄水する必要がない。それだけ良い原水を使っているということです。その辺が理解されないで、東京の方が高度処理しているのだから、なぜ塩竈はしないのかと言われますが、塩竈は原水が汚れていないというのが高度処理を行わない理由です。その辺を色々な機会でもアピールしていただければと思います。そういう意味で、塩竈の規模にあった水道の処理方式を採用させていただいておりますので、ご理解いただきたいと思えます。

#### 【委員】

昨年出した「しおがまの水」、あれは完全にストップということでしょうか。たくさんの方々から好評を得て、今年もやるのですかと声がかかりますし、そういった計画は不可能なのでしょうか。

#### 【事務局】

確かにそういった声もいっぱい聞いております。それを作って、在庫を抱えて事業としてやっていくには、かなり厳しいかなと。

アンケートをとってもおいしいと言われるのですが、お金を出して買っていただけるかという、ほとんどの方は買わないという回答です。そうしますと、在庫を抱えて保管しておかなければいけないという部分のジレンマもございます。市内の方は、蛇口をひねれば同じ水ということで、それを水道として作って、お金をかけて作

ってそれを保管して、今度はそれを販売していく、そういったエネルギーを使う部分、なかなか難しいかと思えます。

今は民間で色々な形で水を売り出しておりますので、それに対抗して新しい水を作っていくという事業までは無理かなと。むしろ、作っている水道水を如何に継続していくかというのが最大の難点でございますので、そちらの方に力を注がせていただきたいというのが、我々の実感でございます。

#### 【委員 長】

今の水道の事業体としては、蛇口をひねってものすごく安い水をおいしく出していて、一方で高いペットボトルの水を売るというのはちょっと今の状態では難しいと思えますが、逆に塩竈の方々色々な方がいらっしゃいますので、資源として非常に素晴らしい水があるというのも事実ですので、そういう意味では全体で色々水を活用するという点については、水道部の方ではきちんと下支えをしていただけるのだと思えますので。

#### 【委員 長】

少し急ぎすぎたかもしれませんが、大体皆様のご意見を賜ったのと、すみませんが宿題を出させていただいたということもございまして、議事に関しては一応ここで終了させていただこうかと思えます。本日の皆様の意見、後でお寄せいただく意見も含めて、事務局の方で適切に反映していただいて、修正するというようなことでお願いいたします。議事はこれで終了させていただきます。

### (3) その他

#### 【事 務 局】

この検討委員会は5回の開催で終了する予定としておりましたが、今後のパブリックコメントあるいは庁議への提案を行いまして、その中で、素案の調整が必要となる場合も出てくるかと思えますので、再度、もう一度だけ開催させていただきたいと思えますので、よろしくお取り計らい願います。

時期につきましては、パブリックコメント等が終わり、素案の調整後となりますので、11月の中旬から下旬になるかと思えます。日程の方は後日調整させていただきたいと思えます。

#### 【委員 長】

最後の委員会となる予定でございましたが、もう一度お付き合いいただいて、基本計画を委員会で責任を持ってまとめさせていただくということで、私の方からもぜひお願いいたします。

よろしければ、本日の委員会はこれで終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。

### (4) 閉会